



昨年の梅雨入りは6/10でした。今年の梅雨入りは平年より3週間も早かったのですが、ここ数日は真夏日を記録しています。湿度が低くからっとしているのが救いです。初夏に咲いた花の実が太り、ヒルガオなどの夏の花が咲き始めています。ウグイスがいつもの場所で鳴き、ホトトギスやオオヨシキリの声が遠くから聞こえてきます。



テイカカズラ

杉の木をよじ登って、何年かかったのでしょうか。今正に満開を迎えた木がありました。風の向きが良ければかぐわしい香りをかけたのですが・・・。



アリ地獄 ウスバカゲロウの幼虫の巣です。まだ新しく若い幼虫のものです。江戸時代にはカハ(ワ)ラスリバチといわれていたそうです。



ルリシジミカマキリの幼虫に捕まる ササの葉上にカマキリの幼虫やカナヘビがよく見られます。獲物を待っているのです。カマキリは前足を伸ばしてチョウを捕まえて、引き寄せています。



クリの雄花

独特な香りを発散します雄花の付け根に雌花をいくつかつけます。



ワルナスビ

北米原産。ナス科植物で繁殖力が旺盛。種子と地下茎によってふえます。葉の裏面の主脈や茎に鋭い刺があります。



クロイトトンボ

春から夏にかけて現れ、腹部は黒く末端の二節が青いイトトンボ。雄は成熟すると、胸の横が粉を吹いたように白くなります。



キマダラ
カミキリ
ビロー
ドのよう
な感じの
まだら模
様がある。
樹液を求
めて日没
後から活動する。コナラ類の朽
ち木に産卵します。



クズノチビタマムシ幼虫

クズの葉の表裏の柔らかい組織
を食べています。成
虫（左・4ミリ）にな
るとクズの葉の縁か
ら食べ進みます。



上:アカシジミ 下:ウラナミ
アカシジミ とともに幼虫の食
草はコナラ類です。



シロテンハナムグリ

固い前翅の下から薄い後翅を
開いて飛ぶことができる甲虫
です。寿命が複数年に渡るもの
もいて増えています。



シジュウカラの若鳥

シジュウカラの群が来たと思っ
て見上げたら若鳥からなる群が
せわしなく飛び去りました。

上:ムラサキシキブ

下:サカキ



植物 アカツメクサ、ニワゼキショウ類、ヒメジョオン、ヘラバヒメジョオン、コモチマンネングサ、ツユクサ開花、ヨウ
シュヤマゴボウ花蕾、ヒルガオ開花、ヤブジラミ実、ヤブヘビイチゴ実、ブタナ、キキョウソウ、ワルナスビ、ツボミオ
オバコ、ネズミムギ、チガヤほける、ノブドウ咲き始め、アオツツラフジ、ヤブガラシ開花、サカキ開花、ノイバラ類、
スイカズラ終わり、アジサイ、テイカカズラ満開、ミツバアケビ実太る、ムラサキシキブ咲き始め、リョウブ蕾、ネズミモ
チ、イソノキ、クリ雄花落下、ヤマモモ実色付く、サクラの実落ちる、ヤマハゼ実、サワフタギ実、ニセアカシア実、ア
ズキナシ実、オニグルミ実、**昆虫** キタキチョウ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ルリシジミ、
アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ヒメウラナミジャノメ、ルリタテハ、コムスジ、アオスジアゲハ、キマダラヒカゲ、ヒロオ
ビトンボエダシヤク、カノコガ死体、ウスキクロテンヒメシヤク、ニセウンモンクチバ、マイマイガ幼虫、クロイトトンボ、
ハラビロトンボ雌雄、コシアキトンボ、オオクロバエ、ニセアシナガキンバエ、マダラアシナガバエ、オオスズメバチ、
セグロアシナガバチ、ハリブトシリアゲアリ、クロオオアリ、クロヤマアリ、アミメアリ、シマハナアブ、ナミホシヒラタア
ブ、コハナバチ類、ゴンズイフクレアブラムシ、ナミテントウ、ヒメカメノコテントウ、クズノチビタマムシ幼虫、クロウ
リハムシ、クリアナアキゾウムシ、コクワガタ、キマダラカミキリ、コフキゾウムシ、シロテンハナムグリ、ヒメホシカメムシ、
シロオビアワフキ、ツチイナゴ、キリギリス幼虫、オオカマキリ幼虫、ナナフシ幼虫、アリ地獄、**クモ** アシナガグモ、
ササグモ、ゴミグモ卵のう、チュウガタシロカネグモ、コシロカネグモ、イオウイロハシリグモ幼体、カニグモ類、**鳥**
ツバメ、スズメ、ハシブトガラス、ウグイス、ヒバリ声、ホトギス声、メジロ声、ヤマガラ声、コゲラ声、シジュウカラ若
鳥、カイツブリ声、カワウ、**その他** イタチ、トカゲ幼体、カナヘビ・ササの葉上、ゴホントゲザトウムシ、トビズムカデ、
イセノナミマイマイ、コハクオナジマイマイ **次回は、7月8日(木)午前9時30分、水資源機構P前、参加費100円**